

特集 ■ がんのリハビリテーション

本特集では、「がんのリハビリテーション」と題し、がん患者を扱うリハビリテーションの現場で、実際に臨床に携わっていらっしゃる各分野の先生方に、それぞれの現状と取り組み、課題、展望などについて解説していただきました。

■現状と課題 (大森まいこ (松本真以子) 氏ら, 1125 頁)

がん対策基本法における第一期から第二期「がん対策推進基本計画」までの動きや、2010 年度診療報酬改定、がんのリハビリテーショングランドデザインなどについての解説、わが国におけるがんリハビリテーションの現状と課題について解説している。「がんサバイバーシップ」とは、がんの診断や治療を受けた「その後」を生きていくプロセス全体を意味し、ライフスタイルや健康増進は、サバイバーシップのなかでも高い関心をもたれているトピックであり、サバイバーシップにおけるがんのリハビリテーションの役割を示し、介入や研究を進めていくことが必要である。

■看護師の役割 (鈴木牧子氏, 1133 頁)

がん治療における看護師の役割について、手術療法、放射線療法、薬物療法、緩和治療などに分けて解説している。がんのリハビリテーションにおける看護師の役割について、多職種を交えたチームアプローチの調整役、セルフケア支援、などの重要性などを強調している。がんのリハビリテーションの必要性をあらゆる職種が理解し、患者の QOL 向上のために同じ方向を向いて取り組むことが必要である。

■リハビリテーションの実践 (田尻寿子氏, 1139 頁)

がんのリハビリテーション実践のための重要な視点として、がんの病態の多様性とリハビリテーションに求められる柔軟性、連携・チームアプローチの必要性、EBM と NBM のバランスをとりながらのアプローチなどを挙げている。また、がんのリハビリテーションの実践では、体力や活動性の維持、食育と栄養、精神的側面へのアプローチ、リスク管理などについても解説している。

■就労支援 (立石清一郎氏ら, 1147 頁)

がん患者の就労支援について、職場の視点、産業医制度などを踏まえ解説し、就労がうまくいった事例、うまくいかなかった事例を紹介している。就労支援のポイントとして、患者の必要なリソースにつなぐこと、身体的機能のみならず心理面にも注目する、企業との連携をはかること、などを挙げている。さまざまな関係者が少しでも支援に携わろうと思うことで周囲の環境はずいぶん整備されつつある。さまざまな立場の関係者が立場を越えて連携を深めていくことが、がん患者の働きやすい環境整備につながる。

■小児がんへの取り組み (上出杏里氏, 1153 頁)

小児がんは、白血病、脳腫瘍、神経芽腫など小児期に発症する悪性腫瘍の総称である。晩期合併症は治療後すぐに現れず、10 年、20 年、30 年以上たってから問題になることもあるため、慢性疾患として長く付き合っていく必要がある。成人のがんとは異なる小児特有のがん患者の課題について、筆者らの取り組みを交えて解説している。

ニュース

障害者, 65 歳で負担増一介護保険移行の影響調査(きょうされん)…1146 駅などのバリアフリー状況公表—国土交通省…1152 ロボット技術活用のトイレ—優秀賞を受賞…1159 障害者施設を応援—商品購入企業の認定制度(福岡県)…1160 パラリンピック 14 競技を支援—メダルを増やす(文部科学省)…1160 「ノーマライゼーション・障害者の福祉」10 月号特集目次…1160 障害者支援法, 対象の難病 153 疾患に—2 次分は引き続き議論(厚生労働省検討会)…1175 字幕・解説放送が微増—総務省…1194

お知らせ

第 41 回日本リハビリテーション工学協会 車いす SIG 講習会 in 別府…1132 2015 年度成人片麻痺ボバース講習会…1138 オリジナル動画で解説 ADL 評価法 FIM 講習会(西日本公式第 12 回)「FIM を活用した予後予測法」…1146 2015 年度ボバース概念小児領域 8 週間講習会…1152 CRASEED アドホック講演会 徹底討論! リハ栄養—栄養ひとつでこんなに変わる…1166 CRASEED 特別セミナー 2 道免和久教授が伝授する「脳卒中リハビリテーションの達人になるために」…1166 呼吸理学療法実践セミナー…1209